

■平成30年度執行目標 上下水道部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	背景・課題・留意点等	項目 (単位)	根拠計画等	H29 実績値	H30 目標値
上下水道部	水道業務課	1	水道メーター検針月の隔月化	「安心・安全な生活と快適な暮らしを支える水道」を将来にわたって維持できるよう経営の効率化・経費削減を目的として、水道メーター検針月の隔月化を行う。下半期の検針を6回から3回に変更する。	平成29年12月議会で水道事業給水条例の改正案が可決された。平成30年10月から水道メーター検針月の隔月化を行うため、料金システムの改修などを行う。	検針削減数 (回)		0	3
上下水道部	水道業務課	2	経営戦略の策定	水道事業の経営基盤強化を目的として、平成31年度から平成40年度を対象期間とする経営戦略を策定する。	平成30年度までに全ての公営企業を対象に中長期的な経営の基本計画である経営戦略を策定するよう総務省が要請している。木津川市の水道事業では、アセットマネジメント・水道ビジョン改訂業務に含めて経営戦略を策定する。	パブリック コメント (回)		0	1
上下水道部	水道工務課	1	施設調書の作成	水道施設台帳の整備に向けて、管路（弁類等を含む）以外の水道施設を調査し、施設調書を作成する。	水道法では台帳整備の規定がなく、災害のあった市町村において、不十分な水道施設データにより復旧作業に支障を生じる例が見受けられた。今後、大規模災害時に応急対策できるよう「水道事業者等に台帳の整備を行なうことを義務付けることとする。」と水道法の一部を改正する予定となり、木津川市においても、水道施設台帳整備に向けて施設調書を作成し、管路以外の水道施設の現状を把握することとした。				
上下水道部	水道工務課	2	布設水道管の更新整備	水道事業における経年水道管(石綿管)を耐震管に更新する。	地震等に比較的脆弱な石綿管を耐震管に更新することで、修繕費等の低減を図り災害に強い管路を構築する。	工事施工延長 (m)		1290	1470
上下水道部	水道工務課	3	水道施設（電気・機械・計装）の更新計画の策定	水道施設の重要度・優先度及び財政収支バランスを踏まえ、中長期的な視点で「水道施設（電気・機械・計装）の更新計画」を策定する。こうした計画的な更新投資により、突発的な断水事故の防止や水道施設全体のライフサイクルコストの低減を目指す。	計5回の定例会等の実施により、概ね現状の把握を完了した。これにより集積したデータを基に、施設の重要度や優先度あるいは更新にかかる財政収支バランスを検討した上で、更新計画を策定する。	会議開催回数 (回)	水道ビジョン	5	9
上下水道部	下水道課	1	汚水処理施設の概成	平成32年度、汚水処理施設の概成に向け「木津川市アクションプラン」に基づき、未普及箇所公共下水道の整備を図る。	一昨年度の遅れ（工事中断、繰越）を解消し、計画通り普及拡大を図れた。今後の普及予定箇所には、国道占用、河川占用等の協議が必要となる区域もあり、効率的な整備を図る必要がある。				
上下水道部	下水道課	2	下水道事業経営戦略の策定	下水道経営環境が、少子高齢化や節水機器の普及などにより厳しくなると予想される中、安全で快適な下水道サービスを持続的・安定的に提供するためには、効率化、経営健全化に取り組み、投資の見通しと財源の見通しを均衡させる必要があるため、その指針となる「経営戦略」を策定する。	下水道事業は全国的に、保有資産の老朽化に伴う大量更新期の到来や人口減少に伴う料金収入の減少等により、経営環境は厳しさを増してきており、経営健全化の取組みが求められている。総務省では、「経済・財政再生計画」の「集中改革期間」である平成30年度までの策定を推進しており、本市においても「経営戦略」を策定し経営基盤の強化を図る必要がある。				